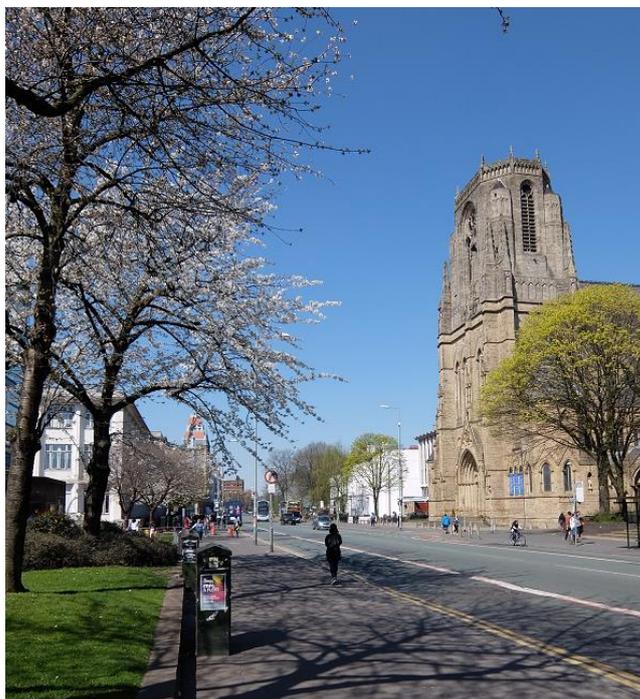


# 留学報告書

記入日:2015年7月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マンチェスター大学 現地言語: The University of Manchester
留学期間	2014年8月～2015年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Faculty of Humanities
帰国年月日	2015年6月10日
明治大学卒業予定年	2016年3月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 9 月下旬～1 月下旬 2 学期: 1 月下旬～6 月上旬
学生数	
創立年	1824 年

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	円	備考
授業料	0	0 円	協定校のため
宿舍費	5,000	900,000 円	シャワー・トイレ付、食事なし
食費	500	90,000 円	
図書費	200	36,000 円	
学用品費	100	18,000 円	
教養娯楽費	300	54,000 円	
被服費	300	54,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	550	100,000 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	1,000	180,000 円	
雑費	300	54,000 円	
合計	8,250	1,486,000 円	

### 渡航関連

渡航経路: 羽田～パリ～マンチェスター

渡航費用

チケットの種類 エコノミー(学生向け料金)

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 180,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JAL 利用

### 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

大学の寮 Burkhardt House というところ

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_)

3) 住居を探した方法:

留学生は大学の寮が保証されているので、留学先大学を通して申し込んだ

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

家賃は高かったがフラットメイトにも恵まれ快適だった。実際に入居してみないと分からない。入居後でも手続きをすれば変更できるようだ。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した: GP と呼ばれる、かかりつけ医のところを紹介された。NHS サービスにより医療費は無料だったが、今後は有料らしい。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題によって、友人に相談したり、国際事務室に相談した。その他にも健康等の相談窓口はあったが、利用しなかった。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

現地の友人から、スリ等軽犯罪の情報や危険地域の情報を得た。休暇中にスペインで盗難にあった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

一度、寮のインターネットが不安定になり、まったく使えなかった時期があったが、それ以外は問題なし。

携帯電話は現地で購入し、sim は giffgaff というものを利用した。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設し、数か月分をまとめて日本の自分の口座から国際送金の手続きをした。(ネットバンキング)

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

常備薬(イギリスの薬も豊富だが、合わなかったり、効かなかったりする)

## 進路について

1) 進路

就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

マイナビ国際派就職、CFN、グローバルキャリアミーティング、大学院の先輩のお話

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

未定

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

留学後、就職活動をすぐに始めるつもりなら、周りの日本にいる学生と比べて遅れをとることは確実なので、留学前・留学中にできることはしっかり調べておくこと。私はそれをやっていなかったため、現在少し就活に苦労している。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Management	経営学
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 1
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Prof. Helge Hoel
授業内容	経営学の基礎。思ったより実用的な内容で、ビジネスにおいて使えるような考え方を学ぶことができる。
試験・課題など	試験のみ。選択・記述・論述すべてである。
感想を自由記入	教科書に沿って授業は進むので、それほど難しくなく、教授も面白い方なので楽しい。大きなレクチャーシアターでの講義。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Geographies of Globalisation	グローバル化と地理学
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 1
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mr. Martin Hess, Mr. Jamie Doucette
授業内容	グローバリゼーションが世界に与えている影響を様々な分野・観点から学ぶ。ビジネスはもちろん、テクノロジーや文化の変容に関する事等、多岐に渡る。
試験・課題など	試験のみ。選択・論述形式。選択の方はとても簡単。論述は対策必要。
感想を自由記入	大教室にも関わらず、学生からの発言が活発な授業。授業中に突然周囲とのディスカッションをするように言われるなど、教授も能動的な授業を好んでいるようだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Human Geography	人文地理学
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 1
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Ms. Sarah Marie Hall
授業内容	人文地理の基礎を浅く広く学ぶという感じの授業。私は地理を学んだ経験はほぼないので、こんなことまで地理なのかと、その範囲の広さに驚いた。
試験・課題など	試験一発勝負ですべて論述形式。できたと思っていたら、結果は良くなかった。授業が簡単だからといって油断してはいけない。
感想を自由記入	基礎の授業なので、日常生活と地理を関連させた授業で、わかりやすい。幅広い知識を複合的に関連させあいつつ理解していくことが重要のようだった。テストでもそれが要求された。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Chinese Studies	中国学
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 1, 2
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー、講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mr. Christopher Payne
授業内容	中国の歴史・言語・文化・人々など、中国に関するあらゆる知識を学び、今後の研究のベースにしていく授業。私はもともと中国語を学んでいたもので、とっつきやすかったし、中国と日本は歴史的に切っても切れない関係にあるため、周囲の学生よりも内容を飲み込みやすかった。
試験・課題など	通年の授業のなかで、レポートが4回ある。試験なし。
感想を自由記入	日本人ということで、中国と日本の関係に関して意見を求められることが少々あった。私は歴史が苦手だったが、同じアジア人なのに、私が日本人としてアジア史をよく知らないのはあまりよくないと感じた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Firms and Management in Comperative Perspective	世界の企業経営の比較
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 1,2
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mr. Leo McCann
授業内容	日本を含め、さまざまな国の企業の特徴やマネジメントの強み弱み等を比較し、知識を深めようとする授業。
試験・課題など	Semester1 はレポート、Semester2 は試験。試験は対策をしっかりとしていなければ書けないほど、深く書かされる。
感想を自由記入	授業は人数が少なく、静かで集中できるが、出席者が少ない印象。教授が結構日本が好きそうで面白い。日本の経営の戦後の劇的復活が題材の時は、講義が熱を帯びていた。試験は難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 2
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Ms. Marzena Nieroda
授業内容	レクチャー形式。マーケティングという科目の特徴もあり、日常生活や我々のような消費者が、企業からどんな影響を受けているのか、また企業がどんな戦略をとっているのかを面白く教えてもらえる。
試験・課題など	マークシートの中間テストが2回ある。最後には選択式と論述の試験もある。
感想を自由記入	大教室にもかかわらず、発言が飛び交う活発な授業だった。マーケティングやビジネスの授業はこうあるべきだと思った。先生も優しいし、特に悪い点はなく楽しく授業に出られた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Contexts of Business and Management	
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	Semester 2
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル及び講義形式
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回
担当教授	Mr. Leo McCann
授業内容	
試験・課題など	テスト 100% 特に毎週のチュートリアルでの議論がテストで役立つ
感想を自由記入	レクチャーは基礎的でありつつも私がこれまで目にしなかった新たなテーマが盛り込まれており面白かった。しかし、チュートリアルはディスカッションしなければ始まらないし、毎週 5 名程度の出席だったので、発言がうまくできないときはかなりストレスフルだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Language and Culture through Film	映画から学ぶ英語と文化
科目設置学部・研究科	LEAP
履修期間	Semester 2
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー及び講義形式
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Ms. Jane Bottomley
授業内容	イギリスの有名映画を通し、文化や地域の言語等を学ぶ。
試験・課題など	毎週、レクチャーとセミナーがあり、その準備(宿題)としてその週の映画を観ておき、簡単な課題をやってることが毎週の課題。プレゼンテーションもペーパーテストもあり、盛りだくさんの授業。
感想を自由記入	先生が明るい、授業態度や無断欠席にはかなり厳しい。楽しい授業だが、毎週の課題の負担が重たい。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	平凡に大学生生活を過ごす、英語および留学の夢は持っていた。TOEFLスコアは非常に低かった。
4月～7月	成績が下がり始めたため、留学への道が閉ざされることのないように大学の授業に真面目に出る。当時、夜遅くまでやっていたバイトもやめ、勉強に集中することにした。
8月～9月	留学を見据えて、フィリピンへ語学研修に行った。これもすばらしい経験となったし、スコアが徐々に上がり始めた。
10月～12月	協定校留学への応募要件を満たす TOEFLスコアを締切りぎりぎりにやっと取得できたので、応募した！
2014年 1月～3月	提出したエッセイおよび面接を経て、派遣留学生として合格をいただき、本当にうれしかった。たぶん人生でトップ3に入るくらいの喜びだった。
4月～7月	留学先の住居を決定した。 英国の学生ビザ取得は難しくはなかったが、非常に面倒な作業の繰り返しで、出国ぎりぎりにやっと取得。 英語力の関係で、取りたい授業がとれない可能性が出てきた。
8月～9月	留学へ出発！Pre-Sessional Courseで英語力の補強をした。補強クラスはほとんどが中国人であった。何もかもが新しく、楽しい生活だった。 交渉の結果、取りたかったビジネスの授業をいくつか履修できることとなった。 ラッキー。
10月～12月	徐々に生活に慣れ始める。主に日本に興味を強く持つ現地の学生と積極的に交流する。授業はついていくのが大変。テストは論述が多く大変だったがまあまあ出来。冬休みは、念願だったヨーロッパ周遊旅行に行った。
2015年 1月～3月	ハイキングクラブの仲間とともに、イギリス北部の島へ一週間の登山旅行に行く。素晴らしい経験だった。セメスター2の授業が始まったが、授業数を多くとりすぎたせいで、非常に苦労した。
4月～7月	帰国が近づき、さみしくなってくる。仲間に別れを告げ、きっとまた会おうと約束する。最後の期末テストは日本の就活とちょうど重なり、留学中で最も大変だった時期だといえるかもしれない。テストの出来もあまり良くなかった。
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと英語が好きでしたが、私のシャイな性格上、その英語を使うことはほぼありませんでした。英語を使って交流したいという考えはかなり前から持っていました。また、高校から大学にかけて国際的な事象に興味を持ち、机上での勉強だけでなく実際にこの目で見てみたいと思うようになりました。内向的な性格を変えたいという強い気持ちもありましたし、世界中に友人ができることを夢見ていました。将来そのような職業に就きたいとも思っていました。それらすべてを同時に叶えることができると思い、留学を決断しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力はあるにこしたことはないですが、それよりも、積極的に人と関わろうとする意志が必要だと思いました。留学の目的は勉強だという人もいますが、私はそれだけじゃないと強く思います。現地の人々とできるだけ多くかかわることが、留学の充実に繋がると思います。あとは日本のことや、自分自身のことを詳しく話せるようになることが重要だと思いました。たとえばお互いのバックグラウンドについて話すとき、Why?と、その深いことを聞かれます。物事や行動には理由があるので、シンプルでもいいから理由を話せるようになると、会話の充実度も上がります。
この留学先を選んだ理由	まず、昔から英語が好きだったこともあって英語圏というのは決めていました。次に色々な学生と交流したかったので、大きな大学がいいんじゃないかと思い、複数に絞りました。マンチェスター大学はとても大きな大学ですし、歴史もあり、ノーベル賞受賞者が何人もいます。いったいどんな高度な教育をしているのだろうと気になり、またイギリス自体の雰囲気、人、建物等やその周辺のヨーロッパの国々にも憧れを持っていたので、マンチェスターを第一志望にしました。ここを選んで正解でした！
大学・学生の雰囲気	概して、真面目な学生が多いなという印象です。1年生のうちは遊びまくっている人も中にはいますが、全体を見ると勤勉な人が多いです。予想されていたことですが、授業は能動的です。教授が話している最中でも質問が飛び交うこともあります。文化の違いかもしれませんが、授業で寝る人はいません。出席しない人はいますが、また驚くのが、将来の展望を語る学生が多いということです。日本の学生には将来の夢を確信をもって語る人はそれほどいないと思いますが、少なくとも私の友人には非常に感心させられました。教育システムの違いかなとも思います。
寮の雰囲気	寮はいくつかの棟が集合して一つのHallとなっていて、部屋自体は広くはありませんでしたが、本当に色々なバックグラウンドを持つ学生が集まっていました。特にセメスターの初めはイベントが沢山ありましたが、来たばかりの頃は勇気が出ずにあまり参加しませんでした。留学中の後悔の一つです。
交友関係	初めの頃はなかなか積極的になれず、日本に興味のある人としか話せませんでした。慣れていくにつれて多くの人に話せるようになりました。最初に仲良くなったのは中国などのアジアの人たちでした。やはり英語力や文化という面で分かり合える部分が多いです。徐々にその交友関係が色々な国に広がっていき、それに従って楽しさも増していきました。何でも話せる親友となった友人もいます。
困ったこと、大変だったこと	留学当初、慣れない環境に体調を崩して胃炎になり、まだ右も左もわからない状態だったので、薬を飲みつつ頑張って治しました。ストレスが知らず知らずのうちに溜まるので、発散しなくてはいけないなと思いました。旅行中に盗難にあい、パスポートやカード等ほぼすべての貴重品を盗られました。その時は一人旅だったので、自分ですべきことを即座に判断して行動しなくてはなりません。本当にいろんな人が親身になって助けてくれて、涙が出そうになることもありましたが。海外では悪い人が目を光らせています。海外に慣れて油断した時を狙ってきます。常にある程度の緊張感を持ち、もし盗まれた際もダメージが少なくなるようにしておくようになりました。安全な日本でもそれを続けています。
学習内容・勉強について	専攻のビジネスに限らず様々な授業を取っていましたので、基礎知識がない科目は特に大変でした。Seminar, Tutorialという少人数のクラスは積極的な発言が求められるので、スピーキングが弱かった私はそれが一番不安の種でした。日本人の仲間はもちろん、教授・クラスメイト・国際オフィスの方々等は私の英語力が低いことを知っているため、わからない時は恥ずかしながら誰かに聞くようにしていました。快く助けてくれた人はいませんでした。本当に感謝です。
課題・試験について	まず、各授業で読むべき量が非常に多いです。読むのを怠ると、英語力が強くない限り、授業の理解度が極端に落ちます。だから読まなくてはなりません。日本では授業を聞くだけでも頭に入ってきましたが、ここでは授業の予習および復習の重要性を痛感しました。レポート課題は、試験と違って自分で時間をコントロールできる分、計画的にできました。それを友人にチェックしてもらうこともできます。

大学外の活動について	いろいろなコミュニティやグループに顔を出すようにしていました。Japanese Society や、International Society、日本学部の学生をはじめ、教会やハイキングクラブにも参加しました。仲間と助け合って登山をするのが本当に楽しかったです。他には限られた予算でできるだけ多くの国に旅行に行きました。
留学を志す人へ	留学を考えてる人も、もう留学へ行くことが決定した人もいると思います。留学を考えると不安なことも頭をよぎりますが、それ以上に楽しいことが待っています。私も人見知りが強かったので、かなり心配でした。授業についていけるかとか、友達ができるだろうかとか、いろんなことを考えました。でも諦めないで実際に挑戦してみてください。こんなシャイな私でも、人生で最も幸せな時間の一つがこの留学だと断言できるほど、素晴らしい経験を得ました。何人もの尊敬できる人に会えるかもしれません。あなたの人生観を変える出来事に遭遇するかもしれません。留学を終えた私は今、幸福感に満ちています！また行きたいなと思っているほどです。大きな希望を持って、頑張ってください。強い思いがあればきっと大丈夫です！応援しています！

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業			
	自習	↓	授業	↓		自習	ハイキングクラブ等課外活動
午後	↓	自習	International Society 英語クラス	自習	授業	↓	↓
	↓	↓	ソサエティの集まり	授業		↓	↓
夕刻	買い物等	↓	日本学部の学生と交流	↓	ネット番組見る	友人と遊ぶ・飲む・ソサエティ等	↓
夜		ネット番組で楽しみながら英語力向上		自習	友人と食事 or 飲む	↓	友人と遊ぶ